

#### 4 月渡航時の協議報告（石塚真由美、中山翔太）

日付	機関	参加者	今後の検討課題
2016/4/19	JICA 事務所での 対処方針	Mr. Fujiie (JICA ザンビア)、比嘉 (JICA ザンビア)	
2016/4/19	ZEMA	Mr. Patson Zulu (Acting Director General, Manager – Northern Region, Head of Inspector) Mr. David Kapindula (Principal Inspector)	
2016/4/19	MOL	Mr. Shitima (MOL)	
2016/4/20	UNZA 鉱山学部、 医学部	Prof Nyambe (UNZA), Meki (UNZA), Nosiku Sipilanyambe Munyinda (Medical School, UNZA)	
2016/4/21	UNZA 経済学部	Mr. Bona Chitah (Lecturer/Researcher, Economics)	
2016/4/21	鉱山省	Mr. Gideon Ndalama (Director)	土壌の送 付者の件
2016/4/21	World Bank	Mr. Sanjay (World Bank), Mr. Mwansa (World Bank), Ms. Oshima (World Bank)	
2016/4/22	UNZA 獣医学部長	Dr. Kennedy Choongo (Dean, Veterinary Medicine)	
2016/4/22	UNZA 教育学部	Dr. Beatrice Matafwali (Lecturer/Researcher, Education), Mr. Gabriel Walubita, Mr. Kalima Kalima	
2016/4/22	リモセンセンター	Mr. Samuel Maango (Manager), Mr. Lad Kazembe, Mr. Victor Mulenga	

比嘉 (JICA ザンビア)、石塚 (獣医)、中山 (獣医)、豊巻 (獣医)、

John Yabe (ザンビア大・獣医)、Kaampwe Muzandu (ザンビア大・獣医)、中田 (青年海外協力隊)

#### 【成果】

- サンプルング時の同行など、プロジェクト連携・協力の確約  
(Nyambe 教授、Meki 氏とは、ボーリング調査などの協力を再確認)
- ステークホルダーの旅費・謝金などの支出について
  - 旅費について JICA 規定を遵守することで同意 (別紙参照)

- 額について、ステークホルダーとの内規を作成
- 移動は、プロジェクトカー購入までは、基本的に公用車・レンタカーなど
  
- 世銀とは連携してプロジェクトを進めることを再確認
  - 2016年12月には、世銀のプロジェクトが開始できる見込み
  - 我々のデータや方法論を基に、大規模なプロジェクトに繋げたいとのこと
  - 7月14日のキックオフシンポジウムにも参加の意向あり → 細井先生から連絡済み

#### 【今後の課題】

- 土壌の送付者として鉱山省に打診したが、結論は出ず
- 保健省と協議できなかった

上記は、ザンビア大獣医および内藤さんから Push して頂くことになっている

#### キックオフシンポジウムについて

- 7月14日 9時～12時半（予定）
- Cresta Golfview Lusaka ミーティングルーム（50～100名用）  
<http://crestagolfview.com/>
  
- コーヒー・お茶、昼食、諸々を入れて2200円/人（プロジェクター・PAなど別途1万円）
- 日本側は約20名、計40名程度を想定
  
- 13日、14日のホテルは、Cresta Golfviewを事務局で予約（学生はツインを検討）
- 日程バラバラのため、上記以外は各チームで手配
  
- 世銀も参加を検討 → 細井先生から連絡済み
- ルサカオフィスの奥村所長（獣医・教授）も参加